

平成24年度

22th

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

入 選 作 品

主催 伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト実行委員会
(栗原市、登米市、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
後援 宮城県、栗原市観光物産協会、登米市観光物産協会、
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会、
河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、
毎日新聞仙台支局
協賛 富士フイルム(株)、宮城県写真商業組合

入 選 者

各 賞	題	氏 名	住 所
最優秀賞 (宮城県知事賞)	霧の朝	蛭田 敏夫	登米市中田町
優秀賞 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団理事長賞)	暁の群翔	渡邊 あや子	石巻市大街道
金 賞 (栗原市長賞)	目覚めの瞬間	伊藤 利喜雄	岩手県一関市
金 賞 (登米市長賞)	煌めきの聖地	渡邊 興次	石巻市大街道
銀 賞 (栗原市観光物産協会会長賞)	朝の景	竹内 加代子	石巻市大街道
銀 賞 (登米市観光物産協会会長賞)	朝日と共に	小野寺 亨	栗原市瀬峰
銀 賞 (宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会会長賞)	朝の乱舞	伊藤 孝喜	登米市中田町
銅 賞 (河北新報社賞)	舞う	千葉 稔	登米市豊里町
銅 賞 (読売新聞東北総局長賞)	天空のハンター	高橋 利行	登米市迫町
銅 賞 (朝日新聞仙台総局長賞)	ファイト	阿部 圭吾	登米市石越町
銅 賞 (毎日新聞仙台支局長賞)	冬蓮図－夜明け	金野 邦明	栗原市若柳
入 選	内沼の夏	鈴木 陽介	仙台市泉区
入 選	やったよ～	高橋 正	登米市米山町
入 選	群青の沼	根本 弘美	仙台市青葉区
入 選	日の出と共に	大友 正志	仙台市青葉区
入 選	猛暑日	佐藤 善治	石巻市桃生町
入 選	頭隠して尻隠さず	佐々木 茂生	仙台市泉区
入 選	夏朝光	雁部 正男	石巻市渡波
入 選	ひと休み	武居 節子	岩手県一関市
入 選	静寂の伊豆沼	遠藤 一治	仙台市泉区

総 評

例年に続き今年も伊豆沼・内沼の自然フォトコンテストの審査をさせていただきました。作品を見させていただき、皆さんの努力と伊豆沼・内沼に対する愛情を深く感じました。少し気になったのは、全体的に作品タイトルが平凡過ぎます。作品タイトルはとても大切です。作者の気持ちを言葉で、作品を引き立たせることができます。数多く素晴らしい写真があるなか、作品を生かしてないタイトルが目立ちました。より工夫していくといいでしょう。

震災の影響もあり、風景の表情は大きく変わりました。撮影ポイントも制限され、自由に撮ることもできなくなったでしょう。毎日変わっていく風景を大切に、その瞬間を記録し表現してください。

伊豆沼・内沼の豊かな自然環境を伝えることができる、素晴らしいフォトコンテストをこれからも多くの方に感じていただけたらと思います。

フォトコンテスト審査員 竹 内 敏 信



1943年愛知県生まれ。
名城大学理工学部卒。
愛知県庁勤務の後、フリーとなる。主として35ミリ一眼レフカメラを駆使し、鋭利な感覚と的確なテクニックで自然の映像化に挑戦し続ける。風景写真の第一人者として最も人気が高く、多くの写真のコンテストの審査員を務める。写真展、講演会など多数。

主な写真集 「花祭」(誠文堂新光社)、「天地」「天地聲聞」「櫻」(出版芸術社)、「天地風韻」(日本芸術出版社)、「雪月花」(トキヨーセブン)。

(社)日本写真家協会会員
日本写真芸術専門学校校長
東京工芸大学講師
現代写真研究所講師



【評】伊豆沼のマガンが飛び立つ姿を上手く表現しています。トーンを暗くすることにより、この沼本来の姿を捉えたのではないのでしょうか。ここまで暗くなると作品として表現が難しいのですが、この作品は上手く伊豆沼の風土を表現しています。構図も良く背景のバランスも良いと思います。水面に浮かぶ鳥のシルエットもいい味をだしています。見事です。



【評】画面いっぱいのマガンの群れ、迫力のある作品です。飛び立つマガン達とゆっくり様子を伺うマガン達の情景が面白く捉えられています。水面が金色に輝きとても美しく、沼の水面を静かに漂っている白鳥も美しく捉えられています。

優秀賞（宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団理事長賞）「暁の群翔」

渡邊 あや子



【評】 夜明けとともに、飛び立つマガン達を良く捉えています。まさにタイトル通りですね。画面の構図も良く、見ていて美しく感じます。背景の山、樹、草、沼のグラデーションがその効果を出していると思います。マガン達がどれだけこの沼を愛しているかが良く伝わってくる作品です。作者の気持ちが入った良い作品ですね。

金賞（登米市長賞）「煌めきの聖地」

渡邊 興次



【評】 伊豆沼の早朝をととても美しく表現しています。背景に見えるハスを朝霧のトーンで印象的に見せています。飛び立とうとするサギが、この沼は決して美的に存在しているのではなく、誇りなのだと語ってくれているようです。

銀賞

(栗原市観光物産協会
会長賞)
「朝の景」

竹内 加代子

【評】全体にライティングを上手く利用して、朝の美しい光を捉えています。この沼の美しい瞬間を見事に捉えて、成功しています。マガンや白鳥の姿も良く伝わってきます。光とモノトーンで植物、野鳥を美しく表現している作品です。



銀賞

(登米市観光物産協会
会長賞)
「朝日と共に」

小野寺 亨

【評】昇ってくる朝日と飛翔するマガンの姿を望遠レンズで良く捉えています。上部には太陽に重なる野鳥、下部には2羽の野鳥と背景に数羽の野鳥のそれぞれの物語が写し出されています。縦の構図が生きた作品だと思います。



銀賞

(宮城県伊豆沼・内沼
サンクチュアリ友の会
会長賞)
「朝の乱舞」

伊藤 孝喜

【評】早朝の様々な姿の一つです。白鳥が水面を羽ばたこうとする時にできる、水しぶきが朝日にあたり、美しく見える瞬間を良く捉えています。大きく羽を広げる白鳥をダイナミックに表現し、早朝の白鳥の鳴き声が聞こえてくる一枚です。

銅賞（河北新報社賞）
「舞 う」

千葉 稔



【評】 2羽のサギが楽しげに舞っています。まさにタイトル通りですね。次に目が行ったのは、背景のハスです。超望遠レンズの効果で、ハスが大きく見えることにより、サギが小さく見えます。実に面白い効果です。こういうユニークな点がとても良いです。

銅賞（読売新聞東北総局長賞）
「天空のハンター」

高橋 利行

【評】 湖面の状態を見定めて、獲物を狙い急降下する野鳥の姿を良く捉えています。望遠レンズによって、焦点を見事に合わせていると同時にシャッターチャンスをものにした作品です。誰もが撮れるわけではありません。



銅賞（朝日新聞仙台総局長賞）
「ファイト」

阿部 圭吾



【評】 画面からあふれてくるのではないかと、錯覚してしまうほど、マガンのざわめきが今にも聞こえてくるようです。フレーミングも問題ありません。一斉に飛び立つ姿を見せることに成功した作品です。

銅賞（毎日新聞仙台支局長賞）
「冬蓮図－夜明け」

金野 邦明



【評】 静かに朝をむかえる伊豆沼の冬の情景を良く捉えています。この作品を見て、日本風景の美しさを再確認しました。右に見える小舟があることにより、全体的に奥行きを見せています。フレーミングも良いです。

入選「内沼の夏」

鈴木陽介



【評】 内沼の夏の雰囲気写真を写真で素直に表していると思います。沼のまわりに見える、花、植物、上空の青空を通して、誰もがこの内沼の夏の情景を楽しめる写真表現をしています。

入選「やったよ～」

高橋 正



【評】 本当に「やったよ～」と聞こえてくるような、一枚です。純粋に祭りを楽しむ女性の姿がとても素敵です。頬を赤く塗り、頭には布をかぶり、子供のようにしゃぐ様子を上手に捉えています。

入選 「群青の沼」

根本弘美



【評】 フィルムの特性を生かし、沼の寒さを良く醸し出しています。全体がブルートーンになることによって、この伊豆沼・内沼の冬の情景を明確に表現しています。構図も的確で、文句無しです。

入選 「猛暑日」

佐藤善治



【評】 空の雲も夏雲のように季節感を感じさせてくれています。水面のハスが美しく捉えられ、とても目を惹きました。この沼の広がりを見せるフレーミングも素晴らしい。

入選 「夏朝光」

雁部正男



【評】 背景の建物を上手く光を使い、象徴的に見せていることが素晴らしい。この作品に関しては、この建物があることにより地域性が感じられます。前景のハスの広がりも素晴らしいです。全体的な光のあたり方も夏の雰囲気を感じさせてくれます。

入選 「ひと休み」

武居節子



【評】 枯れ葉の上にハスの花びらと4匹のカエルがとてもユニークに見えます。まるで、カエル達の憩いの場のように見えてきますね。少し惜しいと思ったのは、構図です。被写体が中央すぎます。もう少し、上と左をカットして、フレーミングしたほうが良かったでしょう。

入選 「日の出と共に」

大友正志



【評】 「日の出と共に」というタイトルの如く、沼の周りを飛び交うマガンの群舞と太陽を見事に捉えています。背景に見える、雲の中にもマガンの群舞が少しボケって見えます。シンプルな構図ですが、飛翔する野鳥と太陽をととても印象的に仕上げています。

入選 「頭隠して尻隠さず」

佐々木茂生



【評】 気持ち良さそうに水浴びをしているカモの群れが、良く捉えています。こういうカモの日常の様子に目をむけるのもとても大事です。カモの動きが一つ一つ面白く見え、可愛らしく見えます。

入選 「静寂の伊豆沼」

遠藤一治



【評】 モノクロトーンで、繊細な光を使い静寂感を表現しています。上部に見える太陽と野鳥の姿も良いですね。これから何かの物語が始まるように見え、とても神秘的に感じます。構図も良いです。